



南伊勢町議会だより

みんなのきかい

令和2年11月1日発行

秋号

No. 53

志摩広域消防組合

～地域を守るヒーローたち～

主な内容

9月定例会	P 2
一般質問	P 4
議会活動報告	P14
委員会活動報告	P16
きかい応援シター	P17
みんなで作って～ほか～	P18



重点事業と注目ポイント

9月8日から11日までの日程で、令和2年第3回議会定例会が開催されました。

補正予算案4件、条例案1件、志摩広域消防組合の協議案3件、工事請負契約の締結案2件、財産の取得案5件、新町建設計画の変更案1件、辺地に係る総合整備計画の策定案1件が提案されました。

令和元年度一般会計歳入歳出決算をはじめとする8件の決算認定は各常任委員会に付託され、その他の案件については、すべて原案通り可決、承認されました。また、報告案2件、同意案6件、発委2件、請願4件、発議4件がありました。

一般質問では、9名の議員が質問を行いました。

議案第60号 令和2年度 南伊勢町 一般会計補正予算（第6号）

旧 南海園（迫間浦）



三密をさけ、来庁者や職員同士の接触機会削減を図り、新型コロナウイルス感染症に備えるとともに、本庁舎等で感染者が発生し、本庁舎が利用できない場合などに、代替庁舎として活用する。

4968万円

分散庁舎等整備事業

避難所感染症防止対策用品整備 事業

1427万円

災害時の感染症予防のため、避難所にマスクや体温計、パーティション、テント等を整備する。

生徒1人に1台の端末整備



新型コロナウイルス感染症の影響により、臨時休校や短縮授業を行う場合の切れ目のない学習環境を提供できるようにするため、小中学校でのタブレット等や情報通信環境を整備する。

9868万円

情報機器整備事業

小中学校

令和元年度

決算認定を委員会付託

決算内容をより深く専門的に議論するために、各常任委員会にて審査を行います。
12月開催予定の第4回定例会にて各委員長より審査報告が行われる予定です。

令和元年度南伊勢町一般会計歳入歳出決算

令和元年度南伊勢町国民健康保険特別会計歳入歳出決算

令和元年度南伊勢町介護保険特別会計歳入歳出決算

令和元年度南伊勢町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算

令和元年度南伊勢町戸別合併処理浄化槽事業特別会計歳入歳出決算

令和元年度南伊勢町下水道事業特別会計歳入歳出決算

令和元年度南伊勢町水道事業会計決算

令和元年度南伊勢町病院事業会計決算



総務建設常任委員会より

発委2件が提出され可決

発委第5号

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書

感染症の拡大は甚大な経済的・社会的影響

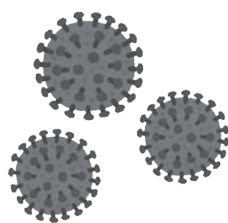
をもたらし、一般財源の激減が避けがたい。

地方自治体は、福祉・医療、教育・子育て、

防災・減災、地方創生、地域経済活性化、雇

用対策等及び、長期化する感染症対策にも迫

られ、強く要望するものです。



発委第6号

防災・減災、国土強靱化対策の継続及び拡充を求める意見書

近年、台風、豪雨等、激甚化・頻発化する自然災害により全

国各地で甚大な被害が発生しており、我が国にとって国土強靱

化は依然として喫緊の課題である。国と地

方が一体となり、ハード、ソフトの両面か

ら対策を実施しているが、対策が必要な箇

所は未だ多数存在する。対策をより一層推

進するための措置を強く求めるものです。



南伊勢町プレミアム商品券 事業

* 1セット1万円分 → 5千円で購入 *

6885 万円

新型コロナウイルス感染症の影響により低迷する消費を喚起し、その影響を受けている事業所等への支援策として、プレミアム付き商品券を発行する。

あなたの声を町政に!!

一般質問



議員の Question 行政の Answer

一般質問は、議員が自分自身の考えや町民の声をもとに、町長に行政の執行状況や将来に対する政策方針などを問うものです。

質問議員	質問事項	ページ
手塚 征男	① 獣害対策と家庭菜園を守る施策を ② 防災対策、二次避難所の問題について ③ みなみいせ商会の問題について	5
田中 喜一郎	① コロナ禍においての「働き方改革」関連について ② 新町立南伊勢病院関連について ③ コロナ禍において、当町が行ってきた感染症対策関連について	6
岡本 眞	① COVID - 19 について ② 防災対策について ③ バイオマス発電について	7
松葉 和久	① 道行竈再生「日本酒プロジェクト」の取組や成果等について	8
舌古 傳夫	① 各小・中学校・保育所施設の維持管理、設備、教育環境等について ② 各小・中学校・保育所熱中症予防対策について ③ 南島地区の小学校について	9
掛橋 靖	① 人口流出問題と若者定住対策	10
西 則孝	① プレミアム商品券発行事業について ② コロナウイルス感染症対策補助金事業と PCR 検査について ③ 2次避難所について	11
岡田 和夫	① 新絆プランについて ② 災害前の事前復興計画について ③ コロナウイルス対策で、町内で PCR 検査ができないか	12
倉田 育	① 生命・財産を守る、総合的な豪雨対策の推進について ② 南勢地区統合保育所新設計画と、子どもの成長を支える空間について	13

一般質問の質問事項・内容は、広報委員会で会議録に基づいて編集し、要約しています。詳細は議会事務局にお問い合わせください。

議会を傍聴しませんか

次回定例議会(予定)

**12月
議会**

12月8日~12月14日

傍聴の受付は議会事務局まで。

皆様の傍聴をおまちしています。

議会に関するご意見、ご要望がございましたら、議会事務局までご連絡ください。

TEL 0599-66-1781 FAX 0599-66-2164



手塚 征男 議員

家庭菜園への補助は

町長 自ら対策を

Q

米や麦など植えている田畑には獣害対策が強化されているが、最近、人家近くにも鹿、猪、サルが入り込んで被害が出ている。家庭菜園への獣害対策補助は。

A

町長 獣害対策資機材等の補助制度は、国の鳥獣被害防止総合対策事業に準じ、受益農家が対象。家庭菜園においては、自ら対策を行うことが原則。



獣害に負けず生きがいを

運営体制は

町長 マニュアルに定めてある

Q

東日本大震災から9年余り経過。あの巨大地震を教訓にした二次避難所の運営体制は決まっているのか。また、南島東小、西小の二次避難所と、授業中に大地震が起きた場合の避難経路は。

A

町長 二次避難所の運営体制は、町が作成した「南伊勢町避難所運営マニュアル」に定め



風化させるな！あの時の思いを

である。各地区に配布し、関係する区長、役員、自主防災組織の皆さんに説明し、訓練の為の避難所運営ゲームHUGも実施。南島東小の二次避難所は南島中学校。西小は旧南島西中学校。授業中の避難経路は、東小は国道260号南島バイパスへ。西小は大通寺上の一次避難所及び、村山地区浅間山の一次避難所へ。

時間外勤務実態は

町長 実績なし



田中喜一郎 議員



全職員に協力呼びかけ

Q

国は「働き方改革関連法」を成立させ、長時間労働の是正、正規・非正規の処遇差の解消、多様な働き方の実現を目指しているが、コロナ禍で一部公的な職種で、80時間以上の時間外労働の実例も報告されていた。当町役場職員の実態は。

A

町長 コロナ禍での職員の時間外勤務は、災害への対処と同様に特例業務としているが、新型コロナウイルス感染症対策会議を設置した3月から8月までの間、多大な時間外勤務の実績は確認できなかった。

感染症委対策は

町長 適切に対応

Q

コロナ禍で、他の医療機関でも感染を警戒し、通院を控えている患者もいると聞いている。町立病院での感染症対策と、患者数の動向は。

A

町長 病院の玄関で、全員の体温測定と、体調の具合を聞き、手指消毒とマスク着用を求めている。37・5度以上の発熱や、体調の悪い方は、別の入り口から、一般の方と動線を分け、適切な感染症対策の上、診察など対応している。入院患者の面会も原則禁止している。患者数については、入院患者は少し減少、外来患者は、若干の増。



万全な体制を



岡本 眞 議員

対策の変化は

町長

様々な対応と徹底

Q

「災害は忘れたころにやってくる」と言うが、世界中がコロナ禍で大変な時、巨大化する自然災害への「備え」が必要。COVID-19が始まってから、防災対策の変化は。

A

町長 コロナウイルス感染防止のため、社会的距離を保ち、避難所避難のほか、家が無事なら在宅避難や、建物上階への垂直避難。親戚知人などへの縁故避難などが選択肢となっている。また、避難所では検温やマスク着用、

身体的な距離の確保、そして、体調不良の申し出などの徹底が必要となる。



平穏な日常が脅かされる

Q

巨大化する自然災害の原因の一つとして、地球の温暖化があげられる。当町は、生物の生態系を守り、未来に住みよい環境を残すため、バイオマス発電に取り組もうとしているが、進める上での大切なことは。

A

町長 バイオマスを活用し、ゴミ処理を行うことは、資源循環による「持続可能な町」をつくることで、長期的には生態系や環境にやさしい。現在、国のバイオマス産業都市への認定に向けて準備中であるが、進め方として、議会をはじめ、町内の皆さん、関係機関、関係団体の方々に理解や協力の下、慎重に進めたい。

大切なことは

町長 皆さんの理解や協力を



常に対話と協調を

プロジェクトの成果は 町長 地域に活力が



松葉和久 議員



Q 地域活性化への思いから地元住民

や、皇學館大学の教授や学生、役場の地域づくり支援員、地域おこし協力隊や若者達がチーム道行竈を結成し、酒米を育て上げ、酒造会社に委託し、大吟醸を造って頂いた。そこで令和元年度の日本酒プロジェクトの成果と令和2年度からの取組や方向性は。

A 町長 令和元年度の成果として、大

学生や地元の高校生、近隣の若者、役場の地域づくり支援員などが関わることで、人口37人の小さな集落で「日本酒プロジェクト」を始めることができたこと、大学生などがプロジェクトに関わり御田植祭などを行うなど、集落外からの様々な人が、地元住民とともにチーム道行竈をつくり、集まることで地域に活力が生まれたことも大きな成果とらえている。

令和2年度の取組や方向性は、チーム道行竈のNPO法人化を進め、酒販免許を取得し、販路を拡大することで活動を軌道に乗せていく計画としている。

町としては、地域の自主的な取組を支援していく方向であり、今後も地域づくり支援員を中心として、支援していきたい。



チーム道行竈



舌古 傳夫 議員

熱中症予防対策は

町長 きめ細かな指導を

Q

各小中学校の熱中症予防対策として、教室や体育館のエアコンや扇風機の設置状況は。また登下校時の熱中症予防対策は。

A

町長 小中学校は、全普通教室をはじめ、ほとんどの特別教室にエアコンを設置している。また、体育館においては、スポットクーラーや大型扇風機を設置している。

登下校時の熱中症予防対策としては、暑さ指数を考へ、冷却タオルの使用やマスキングテープを貼るなどの指導を行っている。また、登下校時のコロナウイルス対策として、ソーシャルディスタンスを保つために、傘の活用した指導も行っている。



あるこう♪あるこう～♪

統合の考えは

教育長

教育環境を整えて

Q

南島西小学校、南島東小学校の児童が少なくなってきた中、この先、統合の考えは。

A

教育長 南島地区の小学校の統廃合については、本年度スタートした南島地区でのコミュニティスクールにおいて「学校運営協議会」を開催し、各学校の実態と課題を話し合っている。



リズムに合わせて

先日、南島地区小中合同の「学校運営連絡協議会」において、実態が話し合われ、統廃合の課題が挙げられた。

今後は「子どもの成長にとって何がいちばん良いのかを考え、教育環境を整えていくこと」を目標に「学校運営協議会」の中で、保護者、地域の方々の意見を大切にした話し合いを進める。